

事務事業名	市有自動車購入・台帳管理事務				担当	総務部 財政課 管財係		
政策名	G 効率的で市民にわかりやすいまちづくり				増補版施策名			
施策名	4 健全な財政運営				☐ 実施計画上の主要事業			
関連個別計画					事業期間	☐ 単年度のみ		
法令根拠						☒ 単年度繰返（開始年度 昭和56 年度～）		
予算科目	1. 一般会計	2. 総務費	1総務管理費	5財産管理費		☐ 期間限定複数年度（ 年度～ 年度）		
事業概要	公用車の一括購入事務を行う。購入・廃車以外に譲与等を含めた公用車の台帳を作成・管理する。							

1. 現状把握の部 (1) 事務事業の目的と指標

①手段（主な活動） 30年度実績 各課で計上した車両購入予算について、財政課で一括して納入業者、納入車の選定、納車までの予算執行・契約事務を行い、購入・廃車以外に譲与等を含めた公用車の台帳を管理した。 31年度計画 各課で計上した車両購入予算について、財政課で一括して納入業者、納入車の選定、納車までの予算執行・契約事務を行い、購入・廃車以外に譲与等を含めた公用車の台帳を管理する。				⑤活動指標（事務事業の活動量を表す指標）の推移 名称 単位 27 年度(実績) 28 年度(実績) 29 年度(実績) 30 年度(実績) 31 年度(見込) ア 購入した公用車台数 台 5 6 7 6 7 イ 廃車した公用車台数 台 6 9 14 6 7 ウ 公用車台帳登録台数 台 229 226 220 220 220 エ オ						
②対象（誰、何を対象にしているのか）＊人や自然資源等 公用車。ただし、一括購入に向かない特殊車両は除く				⑥対象指標（対象の大きさを表す指標）の推移 名称 単位 27 年度(実績) 28 年度(実績) 29 年度(実績) 30 年度(実績) 31 年度(見込) ア 購入車両台数 台 5 6 7 6 7 イ ウ エ オ						
③意図（この事業によって、対象をどう変えるのか） 一括購入することにより、事務の簡素化、購入経費の削減を図る。				⑦成果指標（対象における意図された対象の程度）の推移 名称 単位 27 年度(実績) 28 年度(実績) 29 年度(実績) 30 年度(実績) 31 年度(見込) ア 安価に購入できた台数 台 5 6 7 6 7 イ ウ エ オ						
④結果（どんな結果(上位施策)に結びつけるのか） 事務の簡素化、経費の削減。 (事業費の実績は契約金額合計、見込みは各課からの予算額合計を参照)				⑧上位成果指標（結果の達成度を表す指標）の推移 名称 単位 27 年度(実績) 28 年度(実績) 29 年度(実績) 30 年度(実績) 31 年度(見込) ア 経費節減につながった割合 % 100 100 100 100 100 イ ウ エ オ						
(2) 総事業費の推移				単位	27 年度(実績)	28 年度(実績)	29 年度(実績)	30 年度(実績)	31 年度(見込)	
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	
		県支出金	千円	0	0	0	0	0		
		地方債	千円	0	0	0	0	0		
		その他	千円	0	0	0	0	0		
		一般財源	千円	14,581	7,479	12,415	9,185	16,172		
		事業費計（A）	千円	14,581	7,479	12,415	9,185	16,172		
	人件費	正規職員従事人数	人	1	1	1	1	1		
		延べ業務時間	時間	167	168	182	184	184		
		人件費計（B）	千円	700	698	755	767	767		
		トータルコスト(A)+(B)	千円	15,281	8,177	13,170	9,952	16,939		
(3) 事務事業の環境変化・市民意見等										
①この事務事業を開始したきっかけは何か？ いつごろどんな経緯で開始されたのか。		一括購入することで、事務の簡素化、購入費の軽減を図るため。								
②事務事業を取り巻く状況（対象者や根拠法令等）はどう変化しているか、開始時期あるいは 5 年前と比べてどう変わったのか？										
③この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者等）からどんな意見や要望が寄せられているか？										